

事業番号	10 02 11	事業改善シート（28年度実施事業分）		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	原木栽培きのこ等安定供給推進事業費			担当課	部局	林務部	
					課・局・室	信州の木活用課	
					E-mail	ringyo@pref.nagano.lg.jp	
総合5か年計画	プロジェクト			実施期間	H26 ~		
	施策の総合的展開	1-4 森林を活かす力強い林業・木材産業づくり 4 様々な主体の関わりによる森林の適正管理と多様な利活用の推進					
人口定着・確かな暮らし実現総合戦略	信州創生の基本方針	3-4 活力と循環の信州経済の創出					
	施策展開	3-(1) 経済構造の転換 イ 地域資源を活用した自立的な経済構造の構築 ア 地域資源等の活用					

1 事業の概要

目指す姿	原木栽培きのこ生産者の経営の安定と生産量の増加を図るため、生産者への支援を行い、農山村において主要な産業である特用林産物の振興と地域の活性化を推進する。		
現状（予算編成時）	○東京電力(株)福島第一原子力発電所の事故の影響により、全国的な原木栽培きのこの販売価格の低下、主要な原木の産地であった福島県からの原木の出荷停止、それらによる原木不足や原木の高騰等が生じており、生産者の経営を逼迫するとともに、生産量の減少がおきている。		
県が関与する理由	県でなければ実施不可(その他)	【左記の説明、根拠法令等】 全国的なきのこ販売価格の低下や資材の高騰等、地域の産業であるきのこ生産者等の支援が必要。特用林産産地振興総合対策事業実施要綱	
	県民との協働による実施:	実施中	

成果目標・事業内容	① 成果目標(H28)				
	○原木しいたけ生産量130tが目標 ○平成26年度実績92t、H31年度に東日本大震災前の生産量200tを目標とし、しいたけ原木の安定供給としいたけ生産及びその他特用林産物生産の振興に寄与				
	② 事業内容 (単位:千円)				
	項目	実施方法	H28事業実績	H28 (当初)	H28 (決算)
きのこ等生産力増強対策事業	補助金	・きのこ原木92,995本及び種菌4,979,055個を購入	21,563	14,428	24,002
放射性物質検査体制強化事業	直接	・69件の特用林産物の放射性物質検査を実施	1,362	797	1,029
	補助金	・長野県野生きのこ類及び山菜等に関する放射性物質検査体制検討会議を1回開催	204	0	
合計			23,129	15,225	25,031

事業コスト	区分(単位:千円)	27年度	28年度	29年度	成果目標の達成状況						
	前年度繰越	11,942			項目	H26末	H27末	H28		H29目標	
	当初予算	20,952	23,129	25,031				目標	成果		達成状況
	補正予算	-7,200	-4,767		原木しいたけ生産量(t)	92	99	130	87	未達成	130
	合計(A)	25,694	18,362	25,031							
	一般財源	1,945	797	2,307							
	県債										
	国庫支出金	23,746	4,117	7,500							
	その他	3	13,448	15,224							
	決算額(B)	23,191	15,225								
概算職員数(人)	0.05	0.05	0.05								
概算人件費(C)	414	396	396								
概算事業費(B(A)+C)	23,605	15,621	25,427								

目標に対する成果の状況	生産者の高齢化に伴う生産規模の縮小及び後継者不足による生産者の減少により、生産量が減少した
-------------	---

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施
	本事業により生産者への支援を継続しつつ、農山村の主要な産業である特用林産物の振興と地域の活性化を図る。